

大綱 1 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち	
基 本 構 想	目指すべき江東区の姿 ・身近に豊かな水と緑に親しめるまちづくりを推進し、水辺の環境を整備し、水辺のまちづくりを推進していく。 まちを笑顔で迎えるまちを実現する。 ・誰もが地産地消の暮らしを楽しむことができるまちづくりを推進する。 「江東区基本構想」に定める各大綱の「目指すべき江東区の姿」を転記しています。
	施策の大綱 江東区では、江戸時代から現在に至るまで、ごみ問題、水害、公害等のさまざまな環境問題への取り組みを行うとともに、水と緑のネットワークづくりを推進し、水と緑のつながりを活かすまちづくりを推進していく。 「江東区基本構想」に定める大綱の「目指すべき江東区の姿」に向かうために行っていく施策の方向性を転記しています。

基本施策 1 水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成			
施策 1	水辺と緑のネットワークづくり	主管	土木部
目指す姿	水辺の緑のネットワークづくりを推進し、水と緑のつながりを活かすまちづくりを推進していく。 「江東区長期計画(後期)」の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策が目指す江東区の姿」を転記しています。		
《これまでの取り組みと評価》			
・河川や運河の水と緑のネットワークづくりを推進し、水と緑のつながりを活かすまちづくりを推進していく。 ・老朽化した公園工事の完了による公園の整備が完了し、公園の緑化が完了している。 ・学校施設の緑化が完了している。 《今後の課題、展望》 ・分断された水と緑のネットワークづくりを推進していく。 ・エコロジカルなまちづくりを推進していく。 ・学校施設の緑化を推進していく。 ・心をもてるまちづくりを推進していく。 ・高齢化が進展している。			
《今後の課題、展望》 ・次期長期計画を見据え、現状と課題の分析と施策の取り組みの方向性について記入しています。			
施策 2	身近な緑の育成	主管	土木部
目指す姿	区民の緑に対する愛着と、緑を守り育てる心が育まれ、緑の中の都市「CITY IN THE GREEN」が実現されています。		
《これまでの取り組みと評価》			
・学校施設の新増築及び改築・改修時に校庭芝生化、校舎等の屋上緑化・壁面緑化を実施し、公共施設緑化を着実に推進してきている。 ・街路樹充実事業を着実に実施してきた結果、平成31年度には目標値を達成する見込みである。 ・区民・事業者に対する緑化指導により、民間施設での緑化面積も増加している。 ・各種緑化啓発事業の実施や「CIG区民サポーター会議」の開催等、区民の参画・協働が促進された。			
《今後の課題、展望》			
・学校施設の改築・改修等に合わせ、引き続き緑化を推進していく。 ・緑化部分の維持管理経費及び散水設備等の修繕料の増大が、課題となっている。 ・街路樹の樹勢回復や更新について、検討していく必要がある。 ・今後も、区民・事業者に対する緑化指導により、着実に緑化を推進していく。 ・区民・事業者・行政が一体となって緑の保全及び育成に努め、CIGを推進していく。			

記入例

施策実現に関する指標に係る現状値の推移と達成状況一覧

※現状値は、長期計画(後期)策定時(平成27年3月)に判明していた数値
 ※長計初年度の値が“-”となっている指標は、原則後期より新たに設定・変更した指標

	長期計画(後期)における「施策実現に関する指標」	長計初年度(22年度)	現状値(26年度)	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値(31年度)	指標担当課	目標値の設定根拠・考え方	目標値達成の見込み	【未達の場合】要因と今後の取り組み
施策1	1 水辺と緑に豊かさを感じる区民の割合	77.7%	82.3%	81.1%	82.5%	82.5%		85%	河川公園課	H26目標値と同値。区民の4/5以上が豊かさを感じ、さらに毎年1%ずつ増加することを目標に(80+5)%とした。	未達成となる見込み	区民の生活の環境の変化やニーズが多様化している。今後、公園や水辺・潮風の散歩道の整備を進め、緑のネットワーク化を進めていく。
	2 区民1人当たり公園面積	8.82	8.60㎡	8.43	8.36	8.32	8.51	10㎡	河川公園課	都市公園法施行令江東区立都市公園条例に定める住民1人当たりの都市公園の敷地面積の標準	未達成となる見込み	区民1人当たり公園面積は、区の人口増加に大きく影響される。今後新たな公園整備を検討していく。
	3 水辺・潮風の散歩道整備状況	24,585	27,097m(25年度)	28,808	28,948	29,071		29,647m	河川公園課	主要事業の活動量	平成30年度に344m、平成31年度に250m施工する予定であり、目標値の達成が見込まれる	—
	4 ポケットエコスペース設置数	46	49か所(25年度)	49	50	52		54か所	施設保全課	H26目標値と同値。現状より年1か所ずつ整備した数値	平成30年度以降も学校施設の改修等に合わせて整備が進められる予定であり、目標値の達成が見込まれる。	—
	5 生物多様性という言葉を使ったことがある区民の割合									区民アンケート対象20歳以上のうち、高齢者を除いた20～64歳で「聞いたことがある」割合100%を目指す。平成31年度人口推計を基に20歳以上を分母とし、20～64歳を分子とする。区民アンケートより対象を18歳以上に拡大	未達成となる見込み	生物多様性に関する知識の普及が不足している。今後、区民アンケートによる管理を行うなど普及啓発を行う
6 水と緑に関するボランティア数									定めて推進していく取り組みではないため、目標値実績管理とする			
施策2	7 緑被率	—	19.95%(24年度)	—	—	18.71		22%	管理課	自然の基本計画(H19発行 P35)の平成37年の目標値を前倒して平成31年の目標値とする。17年～24年の伸び3.25%から、24年～31年の必要伸び数2.07%は妥当と考える。	未達成となる見込み。	緑被率の見込みであるが、一部地域の草地在り減少しているため、開発により減少したが、建築工事中である土地が多く含まれているため、竣工時には緑化指導に基づく緑地が確保される予定である。引続き緑化指導を行い、低未利用地の草地进行を樹木や屋上・壁面緑化等による質の高い緑に転換していく。
	8 区立施設における新たな緑化面積	2,341㎡	4,086㎡(25年度)	7,332	0	1,995		—	管理課	区立施設ではあるが、緑化計画が現時点で定まっていないため、推定できない。	—	—
	9 街路樹本数	9,683本	13,340本(25年度)	15,329	16,882	17,635		18,000本	道路課	前期の目標値を踏襲し、年間900本のペースで街路樹を増やしていく。	概ね計画のとおり進捗しており、平成31年度目標値を達成する見込み。	—
	10 区民・事業者による新たな緑化面積	38,801㎡	66,561㎡(25年度)	57,704	103,818	120,924		—	管理課	民間建築のため、推定できない。	—	—

長期計画(後期)の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策実現に関する指標」を転記しています。
 なお、平成29年度の数値が確定している場合は記入しています。

《主管部長が記載》
 「目標値達成の見込み」について、目標値達成の見込みの可否と、達成が見込める場合の根拠を記入しています。
 目標の達成が見込めない場合は、右欄に、その要因とそれを踏まえた今後の取り組み内容について記入しています。
 目標値の設定がない場合は、記入はありません。

記入例

<施策評価シート>

施策 1	水辺と緑のネットワークづくり	主管部長(課)	土木部長(河川公園課)
		関係部長(課)	土木部長(施設保全課)、教育委員会事務局次長(学校施設課)

1 施策が目指す江東区の姿

「江東区長期計画(後期)」の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策が目指す江東区の姿」を転記しています。

2 施策を実現するための取り組み

①連続性のある水辺と緑の形成	水辺に親しめる多彩な散歩道を整備し、河川・運河沿い等の緑を育てることにより、緑を連続させて風の道を創出します。また、区民に親しまれる公園の整備を進めます。
②エコ成	「江東区長期計画(後期)」の第3章「長期計画(後期)における分野別計画」に定める各施策の「施策を実現するための取り組み」の項目及び取り組みを転記しています。
③みんなでつくる水辺と緑と自然	区民・事業者に対し、水辺と緑の維持管理に向けた協力を働きかけます。また、ポケットエコスペースの整備など、区民が身近で自然と触れ合える機会をつくります。

3-1 施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)・区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<ul style="list-style-type: none"> 豊洲地区をはじめとした臨海部の人口が増加している。 河川や運河は護岸整備が進み、散歩道などへの利用転換が進んでいる。 地球温暖化による気候変動が顕著になり、夏は暑く冬は寒いという気候変動が、区民の生活や健康に影響を及ぼしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな公園・緑地の整備が進まなければ、人口増加によって区民一人当たりの公園面積が減少する。 散歩道などの整備が進み、ネットワーク化が進む。 緑地が減少するにつれて、区民の生活や健康に影響を及ぼしている。

3-2 国・都などの方針・基準等に基づき実施するため区の権限が限定的な事業

国や都などが定めた方針・基準等に基づき実施するため、区の権限が限定的であり、区の創意工夫による取り組みが困難な事業のうち、主な事業について記入しています。

4 施策実現に関する指標

指標	単位	現状値 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標値 31年度	指標 担当課
1 水辺と緑に豊かさを感じる区民の割合	%	82.3	81.1	82.5	82.5			85	河川公園課
2 区民1人当たり公園面積									河川公園課
3 水辺・潮風の散歩道整備状況									河川公園課
4 ポケットエコスペース設置状況									施設保全課
5 生物多様性という言葉を知っている区民の割合	%	62.9	64.6	64.5	65.1			75	施設保全課
6 水と緑に関するボランティア数	人	1,159 (25年度)	1,150	962	1,209			—	施設保全課

※指標のうち、網掛けは長期計画(後期)から新たに追加、もしくは内容を変更したもの
【参考】26年度の指標値 指標3: 27,808 指標4: 49 指標6: 1,163

5 施策コストの状況				
	29年度予算	29年度決算(速報値)	30年度予算	31年度予算
トータルコスト	3.1			
事業費	2.7			
人件費	4			

「31年度予算」は、平成31年度当初予算確定後に記入します。

6 一次評価<<主管部長による評価>>

(1) 施策実現に関する指標の進展状況

【指標1】水辺と緑に豊かさを感じる区民の割合は、近年では90%台を維持しており、区民にとって緑が身近に感じ

らわ
【指
15
【指
潮風
m)
【指
27
【指
稚園
年度

《主管部長が記載》

施策実現に関する指標がどのように推移してきたか(進展しているのか、大きな進展はないのか)、目標値の達成に向けて具体的にどのような取り組みを行ってきたかについて記入しています。また、進展状況に関して要因として考えられる事象などがあれば、あわせて記入しています。

※指標の進展状況については、別添の参考3「施策実現に関する指標に係る現状値の推移(平成22～26年度)」でご確認ください。

(2) 施策における現状と課題

◆緑の豊かさを増やすためには、緑のネットワーク化を進めることで区民が緑に触れ合う機会を増やす必要がある。

ま
必
整
は
に
指
ど
の

《主管部長が記載》

施策に関する現在の取り組み状況や施策の目標を達成する上での課題等について記入しています。

う
の
て
境
目
な
ど

(3) 今後5年間の施策の取り組みの方向性

◆豊かな緑の形成に向けて、公園や水辺・潮風の散歩道の整備を着実に進め、水辺のネットワーク化を推進すると

も
に
様
々
な
た
な
て
し
め、
推
進
ど、
ア
カ
わ
せ

《主管部長が記載》

現状と課題等を踏まえ、今後5年間の施策の取り組みの方向性について記入しています。

新
し
の
な
イ
合